

事務事業名 橋梁長寿命化促進事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1721

施策：	27	交通環境の総合的な整備と充実	財務コード	01070102-06-414
基本事業：	01	道路の維持管理	担当部	建設部
基本事業の 成果指標	道路維持管理上の瑕疵による損害賠償件数 道路橋改修進捗率		担当課	土木課
			担当係	土木整備担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	実施計画			
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
道路橋			法定の定期点検を実施し、健全度評価を行う 健全度評価と、社会的影響度等により、橋梁長寿命化修繕計画を作成し、計画的に補修を行う						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
適正な維持管理により施設の長寿命化を図る									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
当年度補修対象橋梁実施割合		%	100	100	100	100			100
5．コスト									
事業費		計	千円	18,478	11,786	30,585	34,358		
		国	千円	6,506	2,750	3,795	6,325		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	14,016		
		一般	千円	11,972	9,036	26,790	14,017		
正職員人工数		人工	1	0.7	0.7				
正職員人件費		千円	7,728	5,471	5,616				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	26,206	17,257	36,201	34,358			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		高齢化が進んでいる橋梁は多数あるため、点検に基づき、劣化の程度や破損時の社会的影響度を精査し実施していきたい。 令和5年度は、1件の橋梁点検を実施した。							
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
位置や、使用状況により、撤去し集約することも検討していきたい。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				備考・特記事項 or 進行管理欄					
現在管理している橋梁は、高度経済成長期以降に集中して建設されており、今後急速に高齢化することになる。 また、永久構造物ではないため、補修等を必要とする橋梁の増加が予想される				着実な実行を図る必要がある					